

NPO☆Kyoken



通 信

☆特定非営利活動法人 教育研究所(不登校問題研究会事務局)82号 平成19年6月12日発行

〒233-0013横浜市港南区丸山台2-26-20 TEL:045-848-3761/FAX:045-848-3742

URL: <http://kyoken.org/>

E-mail: contact@kyoken.org

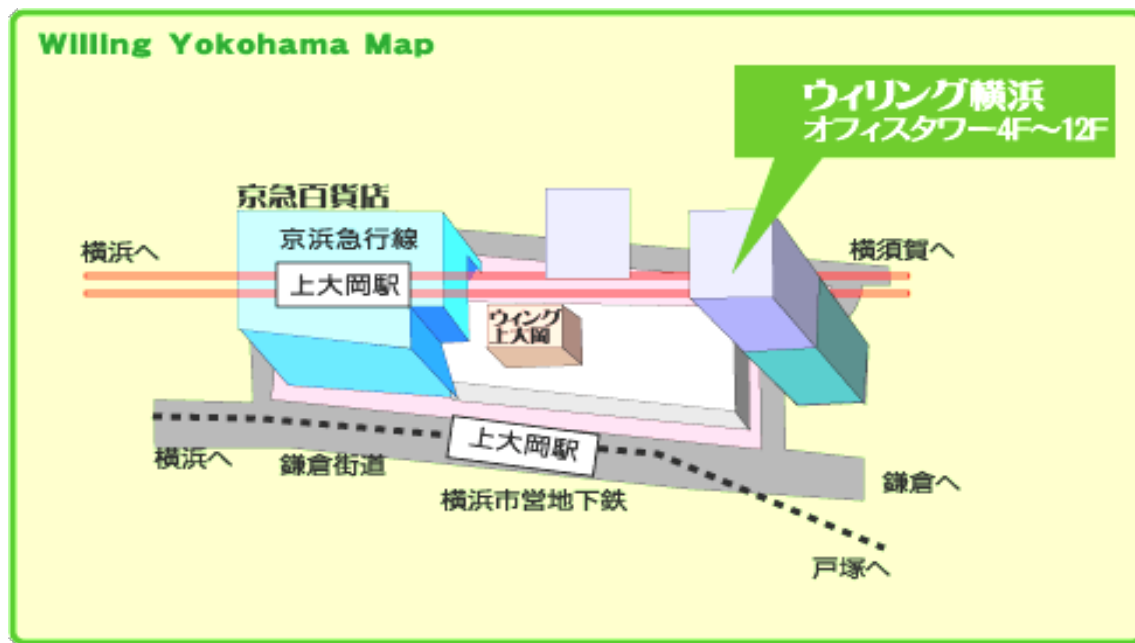
◎ NPO総会が6月30日(土曜日)に開かれます。

NPO 教育研究所の総会が6月30日(土曜日)、ウィリング横浜501号室で午後6時半から開かれます。多くの会員の方々の参加をお待ちしております。

なお、当日は総会終了後、年一回だけの懇親会(会費制・割勘)を予定しております。遠方の方はウィリング横浜に宿泊施設もあります。(シングル7,500円、ツイン6,300円)で泊まります。但し、要予約(電話045-847-6666)。

今年の総会では平成18年度の事業報告及び収支決算と今後の事業展開内容と問題点について討議を行いたいと思います。

また、当日参加できない方は同封の委任状をお手数ですがご返送ください。



◎ ニュース 1

劇団ふるさときゃらばん「地震カミナリ火事オヤジ」黒部市・朝日市公演のお手伝いをして、ミュージカルを見て、さらに劇団員の方々と打ち上げに参加し塾生は大満足でした。劇団ふるさときゃらばんと黒部市議の小柳議員に感謝いたします。

◎ ニュース 2

NHK「ためしてガッテン」にも出演したこともある地元の有名人四十物昆布のおばあちゃん（そんなに年ではありません。理事長と同級生位にしか見えません）に昆布巻きとます寿司の実演講習を自立塾で受けました。その後、みんなで美味しく頂きました。本当に感謝しています。タイ、ひらめ、ホタルイカなど高級食材を持参頂き本当にありがとうございます。美味しかった。

◎ ニュース 3

理事長が5月2日NHK ニュースウォッチ9、6月1日朝刊読売新聞「教育ルネッサンス」に自立塾OBと共に載っています。

◎ ニュース 4

理事長が横浜市青少年自立支援協議会委員になりました。

不登校・ひきこもり・ニート&ネット依存脱出短期体験合宿」のご案内

情緒的には大きな問題がないが、人間関係に消極的な新しい不登校の生徒やニートの若者、あるいはネット依存になってしまった子どもや若者の対応の場として、体験合宿の効果は非常に高いということが分かってきました。参加者の方々から大好評だった冬の合宿に続き、春の合宿として、当塾の宇奈月若者自立塾を使い開催します。人数に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい。

富山県「宇奈月温泉」短期体験合宿 場所 富山県黒部市宇奈月温泉「若者自立塾」

期日 7月18日（水）から23日（月）（5泊6日）

目的 ひきこもりやニート、ネット依存の状況から抜け出すことを目的に生活リズムの改善・体力UP・人間関係の改善（コミュニケーションスキルのUP）進路カウンセリングなどを行い。不安感をやわらげさせ自己有用感を持たせるようさせ、新しい学校や学年に動き出すためのフォローUPを図る。

療法 治療レクリエーション・バランスボール・最大酸素摂取量体力測定・スポーツ遊戯療法・など
の人間関係スキルトレーニング・就労体験先訪問・カウンセリング、その他

集合 横浜「教育研究所事務所」午前9時 現地「若者自立塾」午後4時

のどちらかをお選び下さい。

対象者 ひきこもりの人、不登校の生徒、ニートの方で若者自立塾の生活を体験してみたい人、ネット依存から脱出したい人など

定員 横浜発4名、現地集合3名

費用 52,500円（横浜発は往復交通費別途10,500円）
天然温泉は塾内にあるので24時間入れます。
申し込みには事前面接（無料）が必要です。

主催/NPO法人教育研究所 <http://kyoken.org/>

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20

TEL045-848-3761(代) ファックス045-848-3742

振込み先、横浜銀行、上永谷支店（323）(普) 口座番号 1442815

加入者名「特定非営利活動法人 教育研究所 理事長 牟田 武生」

----- <申 し 込 み> -----

参加者氏名 _____ (歳)住所 _____

電話番号 _____ 保護者名 _____ 印 _____

この連載文は「教育新聞社・WEBサイト子悩みドットコム」に2005年1月から連載されたもので大きな反響がありました。是非、お読み下さい。

インターネットと若者の心理 第7回

ネットゲーム依存とひきこもり(4)

牟田武生

「ネットゲームの中の愛、先生は変なこと言うね。俺には愛なんて、リアルでもネットゲームの世界でも感じたことはないからわからないけれど、親切さや優しさは感じるよ。でも、人を騙すような悪い奴はどこの世界でもいるよ」

「リアルの世界は人間関係がめんどろなだよね。でも、インターネットの仮想社会ではそんなことは感じないだろう。現実と仮想の人間関係の違いはどうして起こるのだろうか」

「仮想社会でも、人間関係は面倒だと思うけど、ゲームの世界は自分の好きな世界だから苦にならない。相手も同じ趣味の世界のキャラだから、自然に話が合うので、全く気を使う必要はない。別に、それはゲームの世界だけでなく、みんなそうなんじゃないですか。趣味が合えばみんな友達ですよ。でも、リアルの世界では、趣味が同じかどうか探りを一々入れなければ分からないですよ。それをするのが大変だから嫌なのです。でも、ネットゲームの中に入れば皆、ゲームの愛好者だから最初から気を使わずにすみます。だから、わざわざ外出しなくてもネットで十分です。」

「そうか、外に出る必要がないんだ」

「インターネットは本当に便利で買い物も出来るし、ニュースも読めるしメールも送れる。インターネット技術の双方向性は本当に凄いですよ。それに最近はネットゲームでリアルマネーを稼げるアルバイトが出来るのまでであるから、何も外に出る必要はないのですよ。他の人からから見れば、ヒッキー（ひきこもり）に見えるでしょうけれどもね。でもそれはお門違いですよ。ヒッキーは他人に会うのが怖いんですよ。俺はそんなことはありません。人なんか怖くないし、不安でもない。外には出る必要がないから出ない。ただ、それだけです。」

「小さい頃からテレビゲームとか好きだったの？」

「もちろん。テレビゲームも好きだったけれども、アニメや漫画も好きだよ。」

「みんな一人遊びのゲームだね」

「俺はひとりっ子だし、小さい頃から学校から帰ると近所には友達はいなかったから、自分の部屋でひとり遊びをして、母が帰るのを待っていた。母はパートで働いていたからね。小学五年生位になると、両親が帰宅しても、ひとりで遊んでいれば静かだから親も怒らないし、干渉もして来なかったから楽だったよ」

「ひとり遊び、と言ったらアニメ・漫画・テレビゲームになっちゃうよね。そうか自然にひとり遊びの世界に入って行ったんだ。気がついてみたら一人の世界が出来ていたんだ。自分の部屋は何歳頃からあったの？」

「小学校に入学したら、今日からここがあなたの部屋だからね。と言われて、部屋で寝起きするようになった。部屋にはテレビもあったよ。だから、幼稚園の時に買ってもらったテレビゲームをセットして遊んでいたよ」

「長くやりすぎて、両親に怒られなかったの？」

「小学生の時は夜9時までと決められていた。時間を守っていれば怒られなかった。中学校は不登校になって生活リズムがメチャクチャになって、昼夜逆転した生活をしてたから決まりなんかなかった。そういえば、中学の入学祝に祖父母がパソコンをプレゼントしてくれて、ネットゲームにはまり

だしたのが中学一年生の夏ごろだった。不登校が先か、ネットゲームにはまったのが先なのか自分でもわかんないなあ」

2005. 7. 1

「若者自立塾」の個別相談・説明会のお知らせ

日 程：平成19年6月17日(日)、7月15日(日)

時 間：13時から16時まで

いずれも予約が必要、個別説明会は教育研究所 (Tel.045-848-3761) で行います。



市営地下鉄「上永谷駅」 徒歩5分

※自立塾については 財団法人 社会経済生産性本部 若者自立塾支援センター
<http://www.jiritsu-juku.jp>をご覧ください。

☆お母さんたちの交流会のお知らせ☆

「毎月5～6人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで、息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています。」（卒業生の母より）

- ・同時に親の会ミニ図書館を開催。
 - ・会員の方ならどなたでも利用可。
 - ・不登校やひきこもりに関する本や心理の本等が300冊以上あります。ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。
- 毎月第4土曜日午後1時から4時頃まで



☆NPO教研会員継続手続きのお願い☆

2006年度に手続きいただいた、NPO教研の会員資格が、3月末で終了致しました。つきまして、2007年度も引き続き会員となり、これまでと同様に教研の会員として、教研の活動を支持支援していただければと思います。

お手続きは、下記の口座に会費5,000円をお支払いいただければ結構です。その場合は、必ずご自身のお名前を入れていただくよう、よろしくお願い致します。

会費納入口座は 横浜銀行 上永谷支店 (323)
(普) 1442815

会員の方には、

- カウンセリング料の割引 1万5千円→1万円、
 - 年5回程度の定期通信の発行
 - 講演会などのイベントのお知らせ
 - お母さんたちのミニ図書館の利用
 - お母さんたちのおしゃべり会への参加
- (2007年会費は、2008年3月末まで有効となります)

また、教研の活動自体にご賛同いただき、支持支援の形で会員になってくださる方を募集しています。

